

筑波山山行報告

【山行日】2021年 4月 7(水) 晴れ

【集 合】鹿窪運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー2台 : 700円

【メンバー】CL鈴木コ SL大西、小松原、嶋田、
嶋田、鈴木ヒ、関、福田ケ、福田タ、松葉

【コースタイム】鹿窪運動公園P7:00＝

筑波高原キャンプ場P7:50/8:10～男ノ川登山口

8:35～薬王院コース合流点 9:00～男体山

9:40/9:50～御幸ヶ原 10:00/10:10～カタクリ園地

10:30/11:10～女体山 11:20/11:40～筑波高原キ

ャンプ場P12:10/12:50＝道の駅「グランテラス筑西」13:30/13:50＝鹿窪運動公園P14:10

今年花の開花が2週間ほど早いので、筑波山のニリンソウが咲いているだろうと裏筑波からの山行を計画した。鹿窪運動公園Pを7時に出発し、裏筑波観光道路を



camp場に着く。トイレは時間が早い為、まだ開いてなく、準備を整えストレッチを行って出発する。駐車場から道路を下って行き、ユースホステル跡への分岐を右に進むと男ノ川登山口に着く。路上駐車車が10台以上あり、このコースの人気の高さを物語る。登山口標識から山道に入り、ここからは2班に分かれて行動する。少し登ると右側に、「大滝大聖不動明王」が祀られている。安全登山を祈願し、男ノ川沿いの道を登って行く。

鬱蒼とした杉林の中を進むと、やがて明るい自然林になりニリンソウが見られるようになる。アズマイチゲやカタクリの花が見られ、皆さんの顔が笑顔で明るくなる。沢の中の岩の道になると、ニリンソウが群生し皆さんから歓声が上がる。沢の中の道を歩くのは気持ち良いし、ニリンソウの中を歩くのはさらに気持ちが良い。しばらく花を楽しみながら登り、やがて沢を離れて九十九折れに登るようになる。急坂を登って行くと、薬王院からの道と合流し左に進む。しばらく登ると分岐に出て左に進むと御幸ヶ原、右に進むと自然研究路から男体山山頂に行く。右に進んで男体山を目指すが、すぐ先の東屋で休憩を取る。ここから自然研究路を進むが、ここでも道脇にカタクリやキクザキイチゲが目を楽しませてくれる。



途中、1周するコースが通行止めになっており、左に急な石段の道を登って行く。やがて電波塔建屋の裏側を通り、ヤセ尾根を登ると筑波山神社が祀られた男体山山頂に着く。神社南側



の展望台からは関東平野が一望でき、北西には日光連山が望める。ここから御幸ヶ原に下ると、丁度B班が登って来た。トイレを済ませたら全員でカタクリ園地に向かう。カタクリ園地はカタクリの花が少なく、イノシシに食べられてしまったのかなと思った。カタクリ園地を出た所のベンチでランチタイムとし、牛タンシチューを温める。本日のランチは牛タンシチューとパンに、タケノコの煮物や漬物等々が並び超豪華。ゆっくりと味わいながらいただき、至福のひと

ときを過ごす。お腹が満たされたら全員で女体山に向かう。女体山の下でB班を待つが中々来ない。おかしいと思い御幸ヶ原まで戻ると、案の定ルースホテルコースを下ろうとしていた。コースが違うので女体山下まで一緒に行き、我輩は女体山山頂に登りA班と合流する。

女体山から下りたら、つくば高原キャンプ場コースを下って行く。このコースはカタクリの群生が見られ、キクザキイチゲも咲く楽しいコースだ。途中からA班が先行し、キャンプ場の駐車場に着く。トイレを済ませニリンソウの群生地を見て駐車場に戻ると、B班が下山してきた。靴を履き替えたら帰路につき、途中道の駅「グ



ランテラス筑西」に寄ってお買い物。野菜や人気のパンをゲットし、予定より早く鹿窪運動公園に帰着した。